秋穂町広報

秋穂町役場発行
山口県吉敷郡
秋穂町（電話４）
編集人発行人　佐藤正日
印刷所
宇部新報印刷所
宇部市東区五反田通
電話１７２５番

御挨拶

秋冷のみぎり益々御清祥に亘らせられ慶賀の至りに存じます。
今回地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づきまして私共五名の者が秋穂町教育委員会の重責を荷うことに相成りましたがもとよりその任でなく果してその負担にそい得るかと懸念いたしているところであります。
しかしながら任命を受けました上は誠心誠意、もつて秋穂町教育行政の円滑なる運営と向上発展に努めたく念願いたしておりますので何卒格別なる御指導と御支援のほど切にお願い申し上げます。

昭和三十一年十月一日
秋穂町教育委員会
委員長　小野忠介
委員　原田良平
同　有富正直
同　内田ヒサヨ
教育長　原田嗣松

壮途につく濱村選手
十八日郷土をあとに

マラソン選手としてオリンピックに出場する浜村選手は、広島、川島両選手と共に元気一杯先月、村越コーチの指導のもとに山口市での合宿訓練を終えてメルボルン大会目指して体力の維持に精進しその調子も上々とのことです。
オリンピック出場の日程も決りましたので秋穂町としても十月十八日町役場前で壮行会を催し浜村選手の壮途を祝福する計画が進められております。なお当日経路を次にかゝげますので絶大なる御声援をお願いいたします。

◎浜村選手オリンピック出場日程

十月十八日午後一時より　町内行進一巡
順路　役場―農協―県北―宮の丘―大海峠（浜岸池）―東天田―中野―下村―若江―大河内（へ折返し）赤崎―金山令―中道―花香―瀬戸―加茂（旧道）本町―役場
午後四時　壮行会
十月十九日（前十一時）　県庁前壮行式
十月十九日（后十二時）　小郡駅前壮行式
十二時三十四分かもめにて上京
〃十月二〇日～二八日　静岡合宿
十月二九日～十一月三日　東京合宿
十一月五日　マラソン選手団羽田空港出発
十二月一日　マラソン競技（午後二時）
◎帰国は十二月十三日頃、郷里は十二月二十六日到着の予定

▼▽…御案内

国民待望の第十六回オリンピック競技大会は来る十一月二十二日から十二月八日まで豪州メルボルンに於て、七十四ケ国約六千人の若人を集めて開催されますが、この大会に参加するかつてのボストンマラソンの覇者浜村秀雄選手は来る十月十八日郷土を出発して壮途につくことになりました。
つきましては、十月十八日午後四時、町役場前で壮行式を挙行いたしますので、多数御参列下さいます様御案内申します。
昭和三十一年十月十日
浜村選手後援会長　安光元一
町民各位

一位入賞の栄誉を二つ獲得
山口農高秋穂分校名声を轟かす

【その一】山口県学校農業クラブ連盟が主催せる、農業クラブ研究発表大会が去る八月、山口農高講堂で開催されました。研究発表には自信をもつ各校代表二十二名が腕を競って論議、山口農高秋穂分校の上村元治君（四年生）が瀬戸内海沿岸の塩利作水田に対する塩土客土の効果を体験にもとづいて発表し見事一等の栄誉を得ました。
月上旬全国農業クラブ連盟の全国大会に出る山口県代表として参加することになっています。

【その二】同じく十月八日の宇部市平原校は、上村元治、西岡勝、松本勇、松本進等の四君が出場し日常の研究と訓練にものをいわせて見事本年も一位を獲得し山口農校秋穂分校の名を県下に轟かせました。
この大会で一位を得た四君は、来

【写真は研究発表に優勝した上村元治君（秋穂町）】

◎写真説明　①山口合宿訓練（中よく走る浜村、川島、広島の三選手）　②二十五粁、藤田大橋附近を力走する浜村選手　③調子はどうですか浜村君、ハー良いですネー、試走三〇粁をすませた直後

秋穂町議会の常任委員会

九月二十五日の第三回臨時町議会で地方自治法の一部改正に伴い次のように常任委員会の構成が行われました。

総務委員会
委員長　福江広登
副委員長　堀田勝治
委員　吉永十一
同　岩田国子
同　赤崎昭二
同　藤岡正夫
同　田中規正

産業委員会
委員長　中村小次郎
副委員長　網沼隆二
委員　倉橋良助
同　岡田中
同　藤本幸一
同　吉山正之助

施設委員会
委員長　末真巌
副委員長　藤田信三
委員　桐畑登喜一
同　藤坂仕郎
同　富田亀吉
同　大瀬健介
以上

災害減免措置について
山口税務署長

台風九号および十二号により被害を受けられたお方に心から御見舞申し上げます。風水害その他災害で被害をうけられたお方を救済するため災害減免法という法の適用をうけることができます。皆さまの中に災害のため租税の減免又は徴収猶予を受けられたいお方は遅滞なく税務署に御申し出で下さい。

食物や、寝びえに注意！
赤痢、疫痢続発

去る八月十五日大部に赤痢患者が発生、その後各方面に蔓り九月を通って増々ふえ十月に入り二日、四日、九日と連日の如く患者が発生している現状で十月九日現在患者総数は十三名に達しました。その中で三名の死亡者を見ておりますので大人、小供問わず下痢をした時は直ちに医師の診察を受けられる様注意して下さい。死亡者三名の理由は医師の診察が遅れ手遅れとなつた人であります。子供の疫痢は発病の時一刻も早く医師の診断を受けることが生死の境となりますのでくれぐれも注意することが必要です。

県政の窓

順調に入つた県税

◎三十年度県の予算額は、百五十九億円、このうち県税収入の予算は二十八億八千万円で、全体の十八％を占めています。
◎ところでこの県税は、卅年度には約三十億円（見込額）も入り、予算額を約一億もうわまわる好成績でした。これは主に県民の皆様の格別の御努力と経済界の好況によって法人関係の税金や個人事業税が相当増えたからです。
◎さて各税目別の収入（見込み）のあらましをみてみますと、県民税四億、事業税十七億、遊興飲食税二億、自動車税一億、固定資産税一億、その他の税が合せて約三億となっています。
◎県税には県民税、事業税などと十数種ありますが、なかでも県民税は納税者の範囲も広く、特に皆さまとのつながりの深い税金ということができます。

こぼれ話

篤志な婦人に感謝！

◎不良化とか、犯罪と新聞の三面記事は毎日のように報道されますが、こんな嬉しい話もあります。これは秋穂小学校運動会当日の出来ごと。
町役場前の「浜村選手オリンピック派遣後援会」の看板をジット見つめていた一婦人が、町役場受付に金一封を出され、浜村選手へと名前を告げずに、係の者が名前を聞いたが答えられもせず立去られた。後援会の人たちは、せちがらい世の中にもこんな篤志婦人がおられることは秋穂町の誉れだとみんな感謝して、浜村選手に報を十二分伝えると。

花嫁衣裳を利用しましょう

◎結婚改善という声はずつと前から叫ばれておりましたがかけ声ばかりで実行されておりませんでしたが、このたび公民館で花嫁衣裳を購入し、皆さんに十分利用して頂き、結婚改善の趣旨を深めて頂くことになったそうです。
各家庭に配布してある結婚改善の申合事項を守って頂く方にお貸しして貸出については一日千円で申込み順に貸し出すとのこと。
皆さん、全町あげて地についた結婚改善を作り若い人々のための諸施設を祈つて頂きたいそうです。もう申込みも多数あり係員は嬉しき悲鳴をあげています。

ファーすごい！

◎これはまたすごいはなし。秋穂町農協組合では十月一日九州の鳥栖市で仔豚六十頭を購入この仔豚と各家庭に飼はれることとなつたが小さいながらもスマートな姿が揃合つているところは八頭身美人、可愛らしいような仔豚のみのだつた。

（写真は購入されて

『燈火親しむ候』

町図書館は現在三千七百冊の蔵書を有して居ます。気候も良くなり読書シーズンになりました。図書館の最高度の御利用を御待ち致して居ります。
尚現在貸出し冊数が三百冊位ありますが至急お返しになって町の皆さんに一人でも多く読んでいただくようにお互に気をつけませう。昔から「本を貸す馬鹿返す大馬鹿」とかいわれてますがそんな古い考えは捨てて、お互い気持よく読んで、次に借られるよう努めましょう。

オリンピックの話
―オリンピック史より―

浜村選手のオリンピック出場でいたるところオリンピックの話題に花が咲いています。
そこでこのオリンピックについて簡単に述べてみたいと思います。

◉はじまり

約二千七百年前、ギリシャのオリンピアというところで行われた運動会にヒントを得て、フランスのクーベルタンという人が「世界の若人が集つて楽しい祭典を行おう」と思つたのが動機となって、いまから六十年前ギリシャのアテネで第一回のオリンピックが開かれました。そして四年目ごとに開催されているわけです

◉参加したのは

日本が初めて参加したのは、第五回大会（一九一二年、スウェーデンのストックホルム）で、マラソンに金栗選手、短距離に三島選手が出場しました。

◉最初の入賞は

第七回大会（ベルギーのアントワープ）に、テニスの熊谷選手が決勝でやぶれて惜しくも二位、この年は選手は十六名参加していました。

◉優勝したのは

第九回大会（オランダのアムステルダム）で三段跳に織田選手が第一位、これが最初の優勝で世界に日本の名を輝かしました。この年から女子選手も参加し、人見選手は八百メートルで一位を得ました。

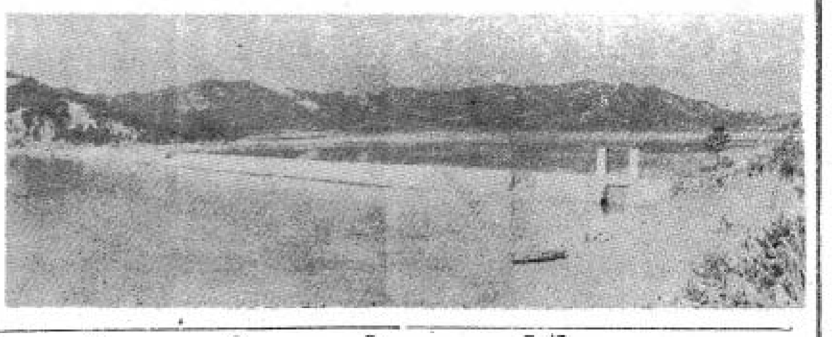
◉その後の活躍

第十回大会（昭和七年）はアメリカのロスアンゼルスで開かれ、三段跳びに南部選手が一位を獲得、水上は世界第一位を得ました
第十一回大会は昭和十一年ベルリンで行われ、マラソン（孫選手）三段跳（田島選手）二百米平泳（前畑秀子選手）が第一位また馬術競技にはオリンピックマラソン総督の村社選手、棒高跳に西田、大江両選手が非常に活躍しスポーツ日本の意気を示しました。昭和十四年は東京で開催の計画もありましたが、戦争により中止し、昭和二十三年のロンドン大会にも日本は参加の資格がなく、昭和二十七年のヘルシンキ大会は終戦後の初出場しましたが、レスリングの石井選手が優勝しただけです。これがため今年のメルボルン大会は大きい成績をあげる様、合宿に訓練を重ねし体力の養成に各選手が懸命になっています。【写真は、日本で最初のオリンピック大会（第五回）に出場したマラソン選手、金栗四三先生】

10月31日は
町民税第三期分の納期限です
納期内に必ず完納致しましょう

第一線殆ど完了

☆…青江湾口堰止め工事…☆



豪雨や、台風のため工事予定が遅れておりますが青江湾口の堰止めは第一線（鋼堰止め等）は殆ど完工し、内側の石張や築土の工事が残っておるだけとなりました。擁石にはナヌが群り大公園が多い時には四十数名も列をなしています

【写真説明 延長五〇〇米青江湾口防波堤前線の浅いのが鋼堰】

知つていただきたい　住民登録の話

戸籍係

私達は誰でもどこかの市町村内に一定の住所をもつております。住所とは人の生活の中心となる場所をいいます。このように市町村の区域内に住所を有する者をその市町村の住民というのでありますが私達の日常生活の上でこの住民の資格から生ずる権利・義務というものは極めて多いのであります。例えば主食の配給を受けるにも選挙権を行使するにも小・中学校に子供を就学させるにも生活保護を受けるにも又市町村民税の課税にしてもその住所が基本となるのです。又、住所証明、印鑑証明を貰う場合等についてもその市町村の住民であることに基いてその証明がなされているのです。このように私達の日常生活にとっては私達がどの市町村の住民であるかということを常に明らかにしておくことが必要なのです。又市町村の側から見ましても右に述べたような日常の事務が能率的にそして正確に行われ住民に充分のサービスを与えるためには是非ともその市町村を構成している住民の一人一人を確実に把握する必要があるのです。

そこで市町村民の利便と市町村役場の行政事務の簡易化の必要に応じて昭和二十七年七月一日住民登録制度が発足したのであります。この住民登録制度ができる以前は寄留制度がありましたがこの制度は手続が煩雑であったため制度本来の使命を充分に果たすことができなかったのであります。そこでこの寄留制度は住民登録制度の発足とともに廃止され住所の移転について簡易な届出によることができる住民登録の制度が築かれたのであります。

ではこのように私達の生活に最も関係の深い住民登録制度についてこれからその概要を述べてみましょう。

◎…住民登録は市町村の住民を登録しその居住関係を公証することを目的としておりますから住民の立場からは市町村においてこの事務を処理することとするのが届出その他の関係からいっても便利であり、また登録の結果は住民の最も基本の基礎資料として市町村の各種の行政事務の処理に充分利用する上にもその方が最も適当であります しかし各市町村が個々的に住民の登録を実施したのでは登録の結果を充分各種行政事務に利用する上において価値が減少するため法律をもって全国の市町村が同一の手続方法に従って相互に連絡して処理されることとされているのであります。

そこで市町村はその住民（外国人はこの登録から除外されている）をもれなく登録しているのであります。市町村役場に備え付けてあるこの登録の台帳を「住民票」（住民票を綴ったものを住民簿といいます）といいます。住民票は世帯を単位として作られており、これに各人の氏名・生年月日・性別・世帯主・その続柄・本籍・住所を定めた年月日・従前の住所等が記載されております。住所に変動があったり、その他住民票の記載事項に変更を生じたときにはその都度住民から届出または市町村が職権でその記載をしたりすることになっております。従って住民票の記載は常に市町村の住民の実際と一致したものでなければならないのであります。

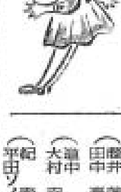
この住民票はいわば市町村の「住民名簿」ともいうべきものでありまして住民登録制度においては最も重要な役割を果しているものであります。

◎…次に住民票と戸籍との関連でありますが住民票の記載の正確を期するため住民票と戸籍とを常に関連をもたせ双方の記載を一致させることになっております。即ち住所地の市町村は同制度施行の当初一斉登録によって住民票を作った際にその記載事項（氏名・生年月日・性別・戸籍の筆頭者の氏名）本籍と戸籍の筆頭者の氏名・住所を定めた年月日）をその者の本籍地市町村に通知し、本籍地の市町村はその通知事項と戸籍の記載とを照合してその結果を更に住所地の市町村へ通知する等確実を期しているのであります。

一方本籍地の市町村ではその区域内に本籍を有する者に就て戸籍を単位として「戸籍の附票」が作られました。この附票には戸籍に記載されている本籍氏名を登記するほか右の住所地市町村からの通知によってその者の住所及び住所を定めた年月日も記載されております。このようにして初めの一斉登録によって作られた住民票は戸籍と照合されたのでありますが、その後住所の変更等があったときはその都度住所地市町村に通知され又本籍や戸籍の氏名等に変更が生じたときは本籍地市町村から住所地市町村に通知がなされる等、市町村相互間で密接な連絡を保っております

その結果本籍地の市町村においてもその者の住所が常に明瞭にされているという今までには見られなかった利便もあるわけです。

◎…住所に変更があったり、その他住民票の記載事項に変更が生じたときには、その都度住民から届出しなければならないことになっておりますが このことについては次号にいたします。



青年団　県大会に活躍

九月中旬山口市で催された県青年団の大会に町青年団の文化部・体育部が吉敷郡代表として出場左の通り優秀な成績を収めました 日を追って冴えわたる町青年団の育成に町を挙げて御協力下さい。

○芸能の部　三位

「藝藪」出演者

白草 且成、平田 文男、平田 輸由、山本 惣、片岡 勝義、田中 福子、舛田 和子、臼井 秀子、野村 宗子、藤田 英子、徳永 正子

○排球の部

○柔道の部　三位

大将（重量）三輪 毅

中堅（中量）内田 悟二

先鋒（軽量）安光 儀雄

監督兼選手　安光 儀雄

○卓球の部

中口 信夫、小川 洋雄

濤岡 正昭、福島善久栄

西村八重子

産業欄

今から準備して　是非出品しましょう

毎年のように、今年も十二月の初め頃農業祭品評会が開かれます。今から準備して優秀な品を出されるようお願いいたします で回覧等までに多数観覧されるようお勧めします。

粘土培養地域に指定されました

この度本町は粘土培養法第三条第一項の規定により粘土培養地域として指定をうけました。この指定を受けると秋落水田改良対策として含鉄物（ヘロサイン）及粘土等を施す場合はすべて助成の対象となります。

中国連合畜産共進会開催のお知らせ

京都、兵庫、鳥取、島根、岡山、広島、山口の七府県連合の畜産共進会が十月十一日から十五日まで徳山市で開催されそれに附随する多彩な行事が繰り広げられますの

親も子も楽しんだ運動会　好天氣に恵まれ無事終る

秋は「スタミナ」といって お腹もよく空きますが、運動にもってこいの季節です。

例年の町内各学校でも、好天気を選んで催したかのように、良い秋日和で親も子も非常に楽しく無事に終りました。

次はとり入れの運動会です。

病気せぬよう、また怪我や所労にあわないよう十分注意して農繁期を暮しましょう。

【写真は秋穂小学校二年生の「メルボルンの空高く」】

お忘れになってはいませんか

町では先に自転車荷車の標識取替を部落に出張して実施いたしましたが今以て新しい標識の取替をされていない方があります。済んでいない方は一日も早くスマートな新しい標識を付けて下さい。取替は税務課又は大海支所で行います

よろこびとかなしみ

◎…出生

※…六月中の届出

出生児　父　続柄　部落名

安光 学文　和男　長男　西青江
山田 幸雄　久幸　長女　北条
上村 清司　勝司　長男　祇園町
上田喜代子　清　長女　光青江
安藤 龍　春吉　長男　西青江
小川 恵子　長久　三女　天神町
中村 勝　正治　長男　井南
小林 国朝　茂樹　二男　東本町
豊岡 真次　一良　二男　本町
田村 例子　例之　二女　本町
村光 成功　安友　二男　中条
武繁 昌由　喜一　二女　祇園町
福田 勝男　一吉　二男　宮之旦
内田ひとみ　勝　二女　黒潟南
新谷 由美　実　三女　日地
原田 祥子　啓兼　三女　中野

※…七月中の届出

大村 恵子　劭雄　長女　先青江
入江 明子　五郎　二女　下村
植永 思稜　一　二女　小浜
内田 忠次　定一　三男　黒潟南
原田 正治　松夫　二男　浜内
福田 育江　光雄　長女　天神町
小河 真一　清己　長男　天神町
安光 光磯　武夫　二男　西青江
驚田 陽子　利治　長女　中野
北山久美子　功　二女　大河内南
河野 教子　節雄　長女　中条
中代 孝子　正一　長女　大河内北

※…八月中の届出

江村 樹　治三郎　三男　井南
中島 宏子　宮司　長女　大河内南
桜田 清子　崇右　長女　黒潟北
赤瀬 敏挙　敏明　長男　井南
半田 郷弘　寛信　四男　屋戸
吉岡 宏　三郎　二男　中道
国村真知子　信二　長女　鯖岸通
樋口 厚雄　孝明　長女　中野
末貞伴治郎　氏義　長男　黒潟南
松井ナミ子　一雄　二女　井南
上田 清子　清一　五女　花香南
田村 親明　昌雄　二男　祇園町
砂田 秀乃　智治　長女　大河内北
岡本 義次　義　長男　黒潟南
安村 明美　武田　長女　日地

※…九月中の届出

紀 富美男　宗雄　長男　東本町
大和 恵子　正　二女　北条
安光 宗久　淑夫　長男　上本町
斉藤 芳一　利男　長男　黒潟南
長嶋 猶介　茂　二男　本町
安光ひとみ　久銘　二女　東天田
梯村 静江　大賀雄　二女　浜中
長尾 叔枝　秀一　三女　祇園町
末広 尚久　清夫　四男　上本町
徳川 京子　善三　長女　本町
田中三枝子　徳　長女　黒潟南
上田アキエ　参雄　二女　先青江
藤曽 勝宏　明　長男　東本町
森王 智子　若司　長女　下村
新山 敏雄　正行　二男　西天田

◎…結婚

※…六月中の届出

夫　婦　部落名

（藤本 昭二　野村 愛子）中条　本町
（村岡 佐治　広重 昭子）中道　山口市
（原田 優　金岡 フサエ）金山　金山
（藤野 利夫　藤田 ＿子）防府市　黒潟北
（松永 忠　柳九重久代）小郡町　下村
（上村 清次　藤江マサ子）東天田　日地
（網部 元雄　山県 昌枝）祇園町　下村
（北野 京一　北崎 ＿子）大河内北　大河内北

※…七月中の届出

（松永 一二　江村千代子）小郡町　大河内南
（藤村 忠男　中村 幸子）黒潟北　山口市
（末本 正雄　大田 鈴枝）山口市　大河内南
（田中 和夫　田中 房枝）本町　本町
（徳永 精満　野村 智子）黒潟北　黒潟北
（佐藤 法治　松永 幸子）山口市　黒潟北
（西山 俊雄　島元イツコ）山口市　中津江
（西田 紀美　古田 幸子）防府市　浜内
（荻広 和一　田中 三子）井南　大内町
（臼井 忠辰　松崎 初江）金山　天神町

※…八月中の届出

（国村 信二　藤井 直美）鯖岸通　鯖岸通
（内田 博吉　村本 清子）防府市　下村
（桜井 義久　田中 寿子）防府市　天神町
（道中 膝　大村 昭子）中条　浜内
（紀 憲雄　平田ツノ子）東本町　花香南
（村上 鶴雄　中山 政子）日地　日地
（大田 源市　福田ミツヨ）北条　浜内

※…九月中の届出

（松村 清　北野サヨ子）鋳銭司村　大河内北
（森王 君司　磯村 ＿子）先青江　加茂
（福田 義三　野村 ＿子）中津江　中津江
（木本 ＿　吉松 ＿子）山口市　屋戸
（石田 ＿　瀬富 マスノ）防府市　大河内北
（原田 ＿　平田 ＿子）福岡県行橋市　花香南

◎…死亡

※…六月中の届出

氏名　年令　部落名

柏木 トメ　五三　西天田
北川マサ子　四〇　黒潟北
安光 ヒサ　六三　西青江
藤崎 保一　五七　屋戸
築永 フサ　七〇　中野
中村 一松　六二　井南
大家 ユウ　九二　中道
江村 ミヤ　七三　北条
中村 ムロ　八一　中条
重野 明男　四九　本町

※…七月中の届出

内山寅太郎　七八　屋戸
小川 忠人　一八　浜中
有田チヨフ　七六　中野
金 勝實　五三　西青江
江村 直一　六六　鯖岸通
藤部 トラ　八五　宮之旦
畠田 カネ　八〇　祇園町

※…八月中の届出

外富カヅコ　四四　小浜
国光 源一　五六　黒潟南
臼井 信郎　四五　中野
安井 トメ　八二　赤崎
中元寅次郎　七八　中津江
藤岡 タニ　六九　東本町
福田宇太郎　八四　西天田
磯田 イソ　五四　宮之旦
田中 宗　三六　井南
鈴谷 マツ　七〇　小浜
高松 潤一　七三　日地

※…九月中の届出

桐 サト　六四　井南
福永 庫一　五七　黒潟北
水木 ウタ　八八　中道
河村 フサ　七四　中道
角田ヒデコ　三三　大河内南
作間 徳介　七四　下村
山本安治郎　七六　中条
鶴村 芳香　三　日地
中村 福一　六六　中道
徳永 律子　四　花香北
松井 タケ　八五　井南
松岡 シマ　七五　大河内南
上田アキエ　〇　先青江
織田 久吉　五四　祇園町